

第5回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

連携・協働アクションプランの具体的取組(案)について

令和 4年 7月 27日

(1) 現状、課題の整理とテーマ設定

- 各WGにおける現状、課題は以下のとおり。
- 課題を踏まえてテーマを設定する。テーマは遠賀川流域のみならず、世界情勢(SDGsとの関係)、社会情勢も踏まえて設定。

WG	現状、課題	テーマ	SDGsとの関係
外来生物対策WG	<ul style="list-style-type: none"> 外来植物(オオキンケギク等)や外来魚(オオクチバス等)の侵入が課題である。 アライグマ、ミシシippアカミミガメ等の外来生物駆除後の処理が課題である。 外来魚(オオクチバス)の利活用ルール 	外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による生物多様性の保全と新たな観光産業の創出	外来生物駆除 
自然環境WG	<ul style="list-style-type: none"> 流域内の汚水処理率が低い。河川水質は、改善傾向にあるものの九州の一級水系の中ではワースト上位に位置している。 堰や樋門等の構造物によって、河川の縦断的な連続性、横断的な連続性が喪失している。 農産物の特産品や歴史・文化的な資源が豊富にある。 	環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援	水質  経済発展 
社会環境WG	<ul style="list-style-type: none"> 全てのアクションプランの取組は情報収集、共有、学習が必要である。 学校での環境学習(水質、水生生物)が行われている。 住民団体、企業等による環境保全活動も盛んである。 	生態系に関する多様な主体の連携	教育  連携 

参考：SDGsとアクションプランの関係

- 持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり日本としても積極的に取り組んでいます。 出典：外務省HP
- 持続可能な開発目標（SDGs）は、経済、社会、環境の3側面における持続可能な開発を総合的取組として推進するものであり、遠賀川流域における生態系ネットワーク形成のためのアクションプランに基づく取組は、遠賀川流域におけるSDGs達成に向けた取組でもある。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(2) 連携・協働アクションプランの具体的取組(案): 外来生物対策WG

■ 外来生物対策WGのテーマと取組の関係

【テーマ】 外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による
生物多様性の保全と新たな観光産業の創出

➤ 外来生物に関する学びと問題意識の啓発

- ・外来生物に関する勉強会による知識向上
- ・外来生物についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での住民への周知による問題意識の啓発

➤ 外来生物の駆除

- ・外来生物(オオキンケイギク:開花期5月~6月)の駆除
(例:春の遠賀川一斉清掃と併せた駆除、点検・巡回時の駆除、通報を受けての駆除、企業等との連携による駆除)
- ・オオキンケイギク生育分布の経年変化の把握
(例:通報・巡回等による確認箇所や駆除実施箇所のマップ作成)
- ・ルールに沿った外来生物の駆除

➤ 外来生物取り扱いルール

- ・駆除対象外来生物のニーズ把握と選定
(例:オオクチバス、アライグマ、スクミリンゴガイ等)
- ・外来生物対策検討会(仮称)の立ち上げ、関係者間調整、取り扱いルール作成・周知

生物多様性の保全

➤ 新たな観光産業の創出

- ・外来生物の活用事例の収集・活用検討(例:釣り、食事、エコツアー等)

(2) 連携・協働アクションプランの具体的取組(案): 外来生物対策WG

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

【テーマ】 外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による生物多様性の保全と新たな観光産業の創出

取組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4~R8(短期)	R9~(長期)
<p>➤ 外来生物に関する学びと問題意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外来生物に関する勉強会による知識向上 ● 外来生物についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での住民への周知による問題意識の啓発 	流域全体	国、県、市町村	住民等	短期	長期
<p>➤ 外来生物の駆除</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外来生物(オオキンケイギク:開花期5月~6月)の駆除(例:春の遠賀川一斉清掃と併せた駆除、点検・巡回時の駆除、通報受けての駆除、企業等との連携による駆除) ● オオキンケイギク生育分布の経年変化の把握(例:通報・巡回等による確認箇所や駆除実施箇所のマップ作成) ● ルールに沿った外来生物の駆除 	流域全体	住民等	国、県、市町村	短期	長期
<p>➤ 外来生物取り扱いルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駆除対象外来生物のニーズ把握・選定(例:オオクチバス、アライグマ、スクミリンゴガイ等) ● 外来生物対策検討会(仮称)の立ち上げ、関係者間調整、取り扱いルール作成・周知 	該当市町村	市町村	国、県	短期	長期
<p>➤ 新たな観光産業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外来生物の活用事例の収集・活用検討(例:釣り、食事、エコツアー等) 	該当市町村	国、県、市町村	住民等	短期	長期

参考：外来生物活用事例

■ 外来魚駆除（灰塚ダム：広島県三次市）



釣りによる外来魚駆除と生ゴミ処理機による処理



地引網による駆除

■ 食事

琵琶バス料理

Biwa bass dish

オリジナルバス料理

あまり知られていませんが、オオクチバス（ブラックバス）はスズキ系の白身魚で、調理を工夫することでとてもおいしく食べられる魚なのです。
にほのうみでは、オリジナルハーブ塩を使用した独自の調理法で、めずらしいバス料理をご提供しています。
ここでしか食べられないオリジナルバス料理、是非ご賞味下さいませ。

バス天丼	¥1,120- (税込み)
湖の幸の天丼 (バスと琵琶鱒の天丼)	¥1,120- (税込み)
湖の幸の天ぷらうどん (バスと琵琶鱒の天ぷら)	¥1,050- (税込み)
湖の幸の天ぷらそば (バスと琵琶鱒の天ぷら)	¥1,050- (税込み)



バス天丼

出典：滋賀県立琵琶湖博物館HP



田総川における川魚(外来魚含む)を食べる会

(2) 連携・協働アクションプランの具体的取組(案): 自然環境WG

■ 自然環境WGのテーマと取組の関係

【テーマ】 環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援

➤ 環境にやさしい農作物の生産等の支援

環境にやさしい農作物の例

- ・減農薬・無農薬農法による河川水質への負荷低減
- ・耕作放棄地の利活用による湿地環境創出と田んぼダム等流域治水への貢献
- ・荒廃した森林の適切な維持管理(植林、間伐)を通じた水源涵養による雨水流出抑制、間伐材の利活用

- ・環境にやさしい農作物の生産活動に関する事例収集と支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))

- ・環境にやさしい農作物の生産活動についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での情報発信、共有

- ・生物が河川と水田を行き来することのできる農地環境創出に向けた関係機関調整(例:エコロジカルネットワーク再生事業等)

生物多様性、生態系の保全

➤ 環境にやさしい農作物ブランド化の支援

- ・環境にやさしい農作物のブランド化に関する勉強会

- ・ブランド化支援対象の抽出(例:れんげ米、源流米)

- ・環境にやさしいブランド農作物の生産活動支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))

- ・エコツーリズム、食事など観光産業への展開(例:農業体験(Do you 農)、食品開発(学校との協働)等)

経済効果

定住人口増加

(2) 連携・協働アクションプランの具体的取組(案): 自然環境WG

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

【テーマ】 環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援

取り組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
➤ 環境にやさしい農作物の生産等の支援					
●環境にやさしい農作物の生産活動に関する事例収集と支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))	流域全体	市町村	国、県、住民等		
●環境にやさしい農作物の生産活動についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での情報発信、共有	流域全体	市町村	国、県、住民等		
●生物が河川と水田を行き来することのできる農地環境創出に向けた関係機関調整(例:エコロジカルネットワーク再生事業等)	流域全体	国、市町村	住民等		
➤ 環境にやさしい農作物のブランド化の支援					
●環境にやさしい農作物のブランド化に関する勉強会	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●ブランド化支援対象の抽出(例:れんげ米、源流米)	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●環境にやさしいブランド農作物の生産活動支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●エコツーリズム、食事など観光産業への展開(例:農業体験(Do you 農)、食品開発(学校との協働)等)	該当市町村	住民等、市町村	国、県		

参考：環境にやさしい農作物の生産活動等事例

○夢れんげ(遠賀町)：減農薬・減化学肥料栽培



出典：遠賀町HP

○源流米(嘉麻市)販売状況



出典：EAT-Plus HP

○香春れんげ米(香春町)：減農薬・減化学肥料栽培



出典：香春町HP

○伐採した竹の活用(メンマ作成)



出典：NPO法人遠賀川流域住民の会HP

(2) 連携・協働アクションプランの具体的取組(案): 社会環境WG

■ 社会環境WGのテーマと取組の関係

【テーマ】 生態系に関する多様な主体の連携

➤ 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用

- ・遠賀川流域生態系ネットワークのロゴマーク作成（コンセプトの検討、公募、決定）とその活用
- ・流域内の生態系保全に資する情報のアーカイブ化とその活用
- ・持続可能な情報発信ツールの採用検討とその活用(例:生態系情報図の活用、メーリングリスト、SNS等)

流域住民の生物多様性保全
に関する意識醸成

生物多様性の保全

➤ 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり

- ・生態系保全に関する人材、資材の調整・融通
(人材の例:外来生物やブランド化の勉強会に関する講師、環境にやさしい農作物を使った食品開発のできる学生等)
(資材の例:外来生物駆除に必要な罟、環境学習で使用する調査機材等)
- ・関係機関の既存イベントを通じた取組の普及
(例:ふくおか水もり自慢!、エコスタいいづか等における発表等)

環境教育、環境保全活動の効率化、
ノウハウの蓄積

人・物のネットワーク形成

(2) 連携・協働アクションプランの具体的取組(案): 社会環境WG

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

【テーマ】 生態系に関する多様な主体の連携

取り組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
<p>➤ 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遠賀川流域生態系ネットワークのロゴマーク作成 (コンセプトの検討、公募、決定)とその活用 ● 流域内の生態系保全に資する情報のアーカイブ化とその活用 ● 持続可能な情報発信ツールの採用検討とその活用 (例: 生態系情報図の活用、メーリングリスト、SNS等) 	流域全体	国、県、市町村		作成、活用	
	流域全体	国、県、市町村		アーカイブ化、活用	
	流域全体	国、県、市町村		ツール検討、活用	
<p>➤ 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生態系保全に関する人材、資材の調整・融通 (人材の例: 外来生物やブランド化の勉強会に関する講師、環境にやさしい農作物を使った食品開発のできる学生等) (資材の例: 外来生物駆除に必要な罠、環境学習で使用する調査機材等) ● 関係機関の既存イベントを通じた取組の普及 (例: ふくおか水もり自慢!、エコスタいいづか等における発表等) 	流域全体	国、県、市町村	住民等	人材、資材の整理、調整	講師の派遣、資材の融通
	流域全体	国、県、市町村 住民等			

参考：多様な主体連携の事例

■ 外来生物勉強会(オオクチバス編)



特定外来生物オオクチバス勉強会(R3.2.17)

■ 外来生物勉強会(オオキンケイギク編)



特定外来生物オオキンケイギク勉強会(R1.5.21)



外来生物オオクチバス編(Youtube動画)

■ ふくおか水もり自慢！



開催状況(R3.11.21)